

作成日：2024年4月17日

## ホームページ上での公開文書

タイトル：Ferroptosisに着目した大腸癌化学療法の効果とその意義

### 1. 研究の概要

術前化学療法を施行した大腸癌に着目し、術前と術後におけるFerroptosisの関与と臨床データをを用いてFerroptosis誘導が治療効果に与える影響を検証することを目的とします。

### 2. 研究機関

藤田医科大学 医療科学部 臨床教育連携ユニット 病理組織細胞学

研究責任者：藤田医科大学医療科学部 臨床教育連携ユニット  
病理組織細胞分野・教授・塩竈和也

研究分担者：藤田医科大学医療科学部 臨床教育連携ユニット  
病理組織細胞分野・助手・平山将也

藤田医科大学医科大学医学部  
臨床医学総論・教授・荒川敏

藤田医科大学医科大学医学部  
総合消化器外科・教授・松岡宏

(研究期間：倫理審査委員会承認日～2027年3月31日)

### 3. 研究対象

藤田医科大学ばんだね病院および藤田医科大学病院において2007年から2023年に外科的に摘出された術前化学療法が施行された進行性大腸癌50例(生検材料・手術材料)のパラフィン切片ホルマリン固定パラフィン包埋ブロックを研究対象とします。いずれも包括同意が得られた症例に限り使用します。

### 4. オプトアウトについて

本研究で使用する個人情報、対象病理標本の病理番号、手術日、最終生存確認日、転帰、進行度分類、薬物治療の効果判定です。病理番号は、病理番号の代わりに新たに付加した識別場号(文字や数字を組み合わせたもの)で厳重な管理を行います。研究対象者に不利益が生じる可能性はありません。万が一、研究対象者およびその関係者から本研究への試料利用の拒否の申し出があった場合、すみやかに研究対象から除外します。

## 5．情報公開

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先（7．研究対象者及びその関係者からの相談窓口）までお問い合わせ下さい。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

## 6．個人情報の開示に係る手続き

研究対象者から個人情報の開示を求められた時、研究支援部が研究対象者への個人情報開示の窓口となります。本研究組織は、全員が藤田医科大学に所属しているので、研究支援部を介した研究対象者からの要求に迅速かつ的確な対応をすることができます。

## 7．研究対象者及びその関係者からの相談窓口

担当者名： 塩竈和也

電話番号：0562-93-2542

FAX 番号：0562-93-4595

E-mail: kazshio@fujita-hu.ac.jp

本研究は藤田医科大学医療科学部病理組織細胞学分野の研究費を研究資金として実施するため、研究対象者等に利益を与えません。また、藤田医科大学内で全ての実験を実施するため、特定の企業との間に利益相反は発生しません。

本研究は本学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の承認を得て実施されています。